

2015年6月4日

ジャパン マリンユナイテッド株式会社  
丸紅株式会社

フィリピン共和国運輸通信省向け  
「40m 級多目的船 10 隻建造及び特別予備品の納入」(ODA 案件) の受注



ジャパン マリンユナイテッド株式会社(社長:三島 慎次郎,本社:東京都港区)(以下、「JMU」)は、丸紅株式会社(社長:國分 文也,本社:東京都千代田区)(以下、「丸紅」)の協力のもと、40m 級多目的船 10 隻の建造および特別予備品に関して、平成 27 年 5 月 29 日にフィリピン共和国運輸通信省より受注いたしました。

これに伴い、本日 ベニグノ・アキノ 3 世 フィリピン共和国大統領ご臨席のもと、ジョセフ・エミリオ・アバヤ長官を代表として、フィリピン共和国運輸通信省との間で、「フィリピン沿岸警備隊 海上安全能力強化事業」に基づく多目的船建造における相互協力につき協定書を締結いたしました。

本件は日本政府の有償資金協力(ODA)「フィリピン沿岸警備隊 海上安全能力強化事業」(STEP 案件:本邦技術活用条件)に基づき、フィリピン共和国運輸通信省が発注者となりフィリピン沿岸警備隊が使用する 40m 級多目的船 10 隻の建造および特別予備品の供与を

行うものです。当該多目的船は平成 28 年 8 月末から順次引渡されます。

フィリピンは 7000 を超える島々と世界第 5 位(3.5 万 km)の海岸線を有する島嶼国国家であり、海上輸送は同国の経済・社会発展にとって大きな役割を担っています。フィリピン沿岸警備隊は海上における安全確保のため海上捜索救助、海洋環境保全、海上法執行、航行安全管理等の業務を担っていますが、広い海域に比してこれら海上業務の足となる船舶数が不足しております。中でも荒天時の救難活動や沿岸域での巡回業務に必要な船舶が不足しており、船舶配備が可能な管区に限られるなど、事故発生時の緊急対応や定期的なモニタリング活動に必要な体制を整備できていない状況にあります。

JMU が受注した本事業は、沿岸域内での海難救助や海上法執行等の業務を迅速かつ適切に実施するための能力向上を実現し、フィリピンにおける海上安全の向上に寄与することが期待されます。

JMU は海上保安庁向け船舶をはじめとした豊富な建造経験を最大限活用し、今後も日本政府による世界各地の ODA 案件に対し積極的に取り組み、国際協力に貢献してまいります。

丸紅は、社会・交通インフラからトレードに至るまで、フィリピンにおいて 100 年以上培ったビジネス実績を活かし、日比両国が相互互恵的な関係を発展させることに寄与します。



<主要目>

全長	:	約 44.00 メートル
幅	:	約 7.50 メートル
深さ	:	約 4.00 メートル
主機関	:	MTU 12V4000M93L x 2
定員	:	士官 5 名/乗員 20 名 計 25 名
航海速度	:	約 15 ノット
船級	:	日本海事協会

お問い合わせ：  
<ジャパン マリンユナイテッド株式会社>  
総務部 広報グループ  
TEL: 03-6722-6100

<丸紅株式会社>  
広報部 報道課  
TEL: 03-3282-4804